

COS

COS がニューヨーク・ファッション・ウィークで

2026 年秋冬コレクションを発表

～コーポレート・モダニズムと 1920 年代のデカダンスが織りなす対話～



画像提供：COS

ロンドン発のファッションブランド「COS（コス）」が 2026 年 9 月 13 日、ニューヨーク・ファッション・ウィークにて 5 回連続となるランウェーショーを開催し、2026 年秋冬コレクションをお披露目しました。精密なテーラリングと豊かな素材使いが静かな洗練をもたらす一方、1920 年代のグラマラスなスタイルから着想を得たディテールを融合することで、テクスチャー、ドレープ、仕立ての表現を際立たせ、モダンで洗練された、タイムレスなコレクションへと昇華させています。

会場となったのは、ニューヨークの歴史ある金融街に位置する象徴的な WSA ビル。都市の建築的なリズムを光の織りなす空間へと昇華させた、明るく光に満ちた空間が、コレクションの持つ精密さや構築性、繊細な表現をより一層引き立てました。

全 47 ルックで構成された本コレクションは、クールトーンのグレー、ブラック、ネイビーを中心とし、柔らかなブラウンのニュアンスと明るいニュートラルカラーを加えることで、温かみと奥行きをもたらします。

COS

アクセントとして効かせた豊かなパープルが意外性のあるコントラストを生み出し、今シーズンの落ち着いた色調に鮮やかさと深みをもたらしました。

クラシックなデザインは、職人技と素材へのこだわりによって再構築され、過去と現在の対話を表現しています。ダブルフェイスカシミヤは、身体を包み込むようなラップシルエットを形成し、存在感のあるマキシ丈、絞られたウエスト、印象的な襟のディテールなど多彩に展開。繊細なフローラル刺繍やフリンジが立体感とフェミニンな要素を加えます。レザーは、職人の手仕事を感じさせる切りっぱなしの構築的なデザインとクラシックなシルエットで表現され、ヘリテージから着想を得たヘリンボーン織りが、洗練されたコレクションの視点を際立たせています。

ウィメンズウェアでは、昼から夜までシームレスに活躍する、タイムレスなアイテムにより現代的なシティスタイルを提案しています。ロング丈のアウターウェアが洗練されたワードローブの基盤となり、エフォートレスで汎用性を誇るコートがスタイリングの軸となります。コレクションの核であるクラシックなテーラリングは、彫刻的なシルエットや緻密な仕立て、セットアップで着用できるセパレートアイテムとして再解釈され、控えめながらも美しい統一感を演出しています。エレガントなドレープを描くドレスは流動性と軽やかさを基調とし、1920年代に着想を得たローウエスト、アシンメトリーヘム、透け感と触感の繊細なコントラストを取り入れました。足元や手元には、しなやかなレザーバッグやローファーを合わせ、スタイリングを完成させています。

メンズウェアでは、仕立ての美学がコレクション全体を通して表現され、アウターウェアとテーラリングにはダブルブレストの仕様やショルダーエポレットといったディテールが取り入れられています。調和の取れたテーラリングは、シグネチャーシャツからハーフジップニットまで、タイムレスなワードローブアイテムをベースに構成されています。ゆとりのあるプロポーションがシルエットを形づくり、パンツはスリムフィットとワイドレッグの2通りのシルエットで展開。トーンを揃えたタイ、ダービーシューズ、ローファーが、洗練されたスタイリングの仕上げとなります。

COS 2026 年秋冬ショーで発表されたアイテムの一部は、現在 COS 店舗および COS 公式オンラインストアにて発売中です。今シーズンを通して、数量限定の新作アイテムが順次登場します。

※本リリースに関する画像データは[こちら](#)からダウンロードいただけます。

COS

ゲスト：

- 俳優/COS グローバルブランドアンバサダー：パク・ギュヨン (Park Gyuyoung)
- 歌手：エラ (ELLA/MEOVV)
- 俳優：ミュー・スパシット (Mew Suppasit)
- 俳優：ルピタ・ニョンゴ (Lupita Nyong'o)
- 俳優：ミシェル・ウィリアムズ (Michelle Williams)
- 俳優：ジョン・ボーエガ (John Boyega)
- 俳優：ドミニク・セッサ (Dominic Sessa) 他多数

クレジット：

ショーデザイン／ディレクション／プロダクション：ビューロー・ベタック (Bureau Betak)

コンテンツ ディレクション／プロダクション：ビューロー・フューチャー (Bureau Future)

オリジナル音楽制作：コンプ／ルーカス・ヘーリッヒ (COMP / Lukas Heerich)

キャスティング・ディレクター：Simone Schofer (Artistry)

スタイリスト：ジェーン・ハウ (Jane How)

ファースト・スタイリングアシスタント：ドニカ・アンダーソン (Donnika Anderson)

スタイリングアシスタント：クリスティン・ウィリアムズ (Kristyn Williams)、アビー・マク
デイド (Abby Mcdade)、チスタ・イナリア (Chista Inalia)、オラ・オラジデ (Ola Olajide)

メイクアップ：デイム・パット・マクグラス (Dame Pat McGrath)

ヘアメイク：ガイド・パラウ (Guido Palau)

ネイル：ハニー (Honey)

会場協力：WSA (住所：161 Water Street, New York, NY, 10038)

COS デザインディレクター：カリン・グスタフソン (Karin Gustafsson)

寄付

- The Greenshot ([@thegreenshot](#))
- 廃棄物のリサイクル／コンポスト化：Avid Waste
- フードドネーション：Rock CAN Roll
- セットの素材は、アート活動を支援するクリエイティブ・リユースセンター、Materials for the Arts ([@materialsforthearts](#)) へ寄付されます。

COS

ショーモデル／タレント：

Look 1：ヌール・カーン (Noor Khan)

Look 2：レオン・デイム (Leon Dame)

Look 3：アワル・オディアン (Awar Odhiang)

Look 4：アレイナ・レイ (Alaina Rae)

Look 5：ルマ・ヴィトリア (Luma Vitoria)

Look 6：セルカン・デニズ (Serkan Deniz)

Look 7：サール・マンズヴェルト・ベック (Saar Mansvelt Beck)

Look 8：ソール・サイモン (Saul Symon)

Look 9：ウェンディ・ガルシア (Wendy Garcia)

Look 10：ハージャ・リー (Hejia Li)

Look 11：アイダ・ハイナー (Ida Heiner)

Look 12：ピエリック・グレゴワール (Pierrick Grégoire)

Look 13：フラヴィー・サマーターノ (Flavie Sammartano)

Look 14：クリス・クリスタル (Kris Krystal)

Look 15：ガイ・サリーン (Gaye Serigne)

Look 16：カンラン・ワン (Canlan Wang)

Look 17：ローレンス・ウィンストン (Lawrence Winston)

Look 18：サブリーナ・オリヴェイラ (Sabryna Oliveira)

Look 19：シアン・ル・ネヴェ (Lucien Le Nevé)

Look 20：ベベ・パーネル (Bebe Parnell)

Look 21：ジュリアン・ソニエール (Julien Saurnier)

Look 22：サラ・カバレロ (Sara Caballero)

Look 23：エミール・ダンカート (Emile Danckaert)

Look 24：ルーユー・チェン (Ruyu Chen)

Look 25：ギデオン・アデニイ (Gideon Adeniyi)

Look 26：ケイトリン・ソーティンダル (Caitlin Soetendal)

Look 27：フラウケ・ネイス (Frauke Nijs)

Look 28：キム・ホヨン (Hoyong Kim)

Look 29：シャーロット・ボッジャ (Charlotte Boggia)

Look 30：ヴァレリー・セルゲーエヴァ (Valery Sergeeva)

Look 31：ルーベン・ビラン＝キャロル (Ruben Bilan Carroll)

Look 32：ミクレイト・マコボラ (Micklate Macobola)

Look 33：オスカー・フィッシュマン (Oscar Fishman)

Look 34：カロリーナ・スパコウスキ (Karolina Spakowski)

Look 35：ルイーザ・ペロッチ (Luiza Perote)

Look 36：サーシャ・ラヤサール (Sascha Rajasalu)

Look 37：チョン・スヨン (Suyong Jung)

Look 38：カタリーナ・シャレナツ (Katarina Sarenac)

Look 39：ユン・ソウ (Yun Seo Woo)

Look 40：エロディ・ギポー (Elodie Guipaud)

Look 41：アワル・アデオティ (Awwal Adeoti)

COS

Look 42 : ローレン・ハイスケンス (Lauren Hyuskens)

Look 43 : チャンドラー・フライ (Chandler Frye)

Look 44 : チャーリー・ジョーンズ (Charlie Jones)

Look 45 : マリック・ボディアン (Malick Bodian)

Look 46 : マーリン・ラドニック (Malin Rudnick)

Look 47 : リビー・タヴァナー (Libby Taverner)

COS について

ロンドン発のファッションブランド COS は、現代文化から着想を得た、長く愛用できるアイコン的なワードローブと洗練されたエッセンシャルアイテムで知られています。品質へのこだわりのもと、ビスポーク的なデザインアプローチを採用し、機能性とタイムレスなスタイルを融合させた独自のコレクションを生み出しています。

cos.com

press.cos.com

[@cosstores](#)

[@cos](#)

<Press Contact>

WAG, Inc.

釘丸 悠佳 / 田地川 鈴蘭 / 久保田 理沙

Email: cos@wag-inc.co.jp / Tel: 03-5791-1500